



## 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社  
コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

TEL 06-6416-1184

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,933	△25.9	△792	—	△750	—	△749	—
25年9月期第2四半期	3,957	△19.7	△331	—	△321	—	△689	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 △746百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 △604百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	△321.15	—
25年9月期第2四半期	△295.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	11,829	6,925	58.5
25年9月期	12,356	7,742	62.7

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 6,925百万円 25年9月期 7,742百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	30.00	30.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末と期末日を基準日と定めておりますが、第2四半期末は無配、期末日における配当予想額は現時点では未定であります。

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△10.0	△550	—	△530	—	△560	—	△239.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	2,678,600 株	25年9月期	2,678,600 株
26年9月期2Q	343,810 株	25年9月期	343,719 株
26年9月期2Q	2,334,843 株	25年9月期2Q	2,334,950 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年3月31日まで）のわが国経済は、企業業績の改善を背景に、雇用情勢、設備投資は着実に持ち直し、消費税の引き上げに伴う駆け込み需要もあって、個人消費も増加する状況で推移いたしました。

当社グループは、発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、依然、原子力発電所（以下、「原発」）の再稼働が実現しない状況の中、主力マーケットである原発向けの各種製品、サービスに多くを依存できない事業環境が継続しており、前連結会計年度以降、業績は非常に厳しい状況が続いております。

このような中、当第2四半期連結累計期間におきましては、原発向けでは、昨年9月に営業運転を終了し法定の定期検査に入った関西電力大飯発電所3・4号機向けのバルブ点検工事のほか、中国の原発向け逃がし弁の製造、全国の原発で再稼働に向けて行われている改造・検査・点検などに関するバルブ製造、メンテナンス案件の受注・生産活動に注力し、また、火力発電所向けでは、新設火力などの大口案件が前期までに概ね納品を完了したことに加え、原発が再稼働しないことにより、今春に計画されていた原発の点検・補修計画のほとんどが今秋以降に延期されたことから、スポットの小口案件を中心とした営業・生産活動を行ってまいりました。

このように極めて厳しいマーケット環境が継続していることに加え、関西電力大飯発電所3・4号機向け定期検査工事については、工事仕様変更等により当第2四半期連結累計期間には売上を計上するに至らず、その他には大型案件が極めて少ない状況で推移したことから、『表：報告セグメント内の種類別売上高』に示すとおり、ほとんどの種類別で減収となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は極めて低調なものとなり、売上高は29億33百万円（前年同四半期比25.9%減少）、営業利益は7億92百万円の赤字（前年同四半期は3億31百万円の赤字）、経常利益は7億50百万円の赤字（同3億21百万円の赤字）、四半期純利益は7億49百万円の赤字（同6億89百万円の赤字）と、大幅な減収により多額の損失を計上することとなりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	1,198	841	△29.8
	バルブ用取替補修部品	560	472	△15.8
	原子力発電所定期検査工事	70	154	118.3
	その他メンテナンス等の役務提供	1,481	898	△39.3
	小計	3,311	2,366	△28.5
製鋼事業	铸鋼製品	645	566	△12.2
	合計	3,957	2,933	△25.9

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は118億29百万円で、前連結会計年度末に比して、5億26百万円減少いたしました。

これは、売上が低調であったことから、営業債権（受取手形及び売掛金）が4億12百万円減少したほか、多額の四半期純損失の計上により実質的に現金及び預金が2億21百万円減少（当第2四半期連結会計期間末では余剰資金を有価証券で運用しているため、現金及び預金と有価証券の合計での増減）したことによるものであります。

なお、損失額に対して実質的な現金及び預金の減少額が少ないのは、原発が再稼働しないことにより売上計上が保留されている案件等について前受金を受領したことによるものであります。

負債残高は49億4百万円で、前連結会計年度末に比して2億90百万円増加いたしました。長期借入金の返済等により固定負債が2億33百万円減少いたしました。前連結の前受金が4億56百万円増加したほか、工場稼働の確保と固定費回収を優先した受注政策を採った結果、受注損失引当金が1億71百万円増加するなど、流動負債が5億23百万円増加したことから、負債合計では増加となりました。

純資産の残高は69億25百万円で、主に四半期純損失の計上を理由に、前連結会計年度末に比して8億17百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結期間では、平成25年11月12日に「平成25年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を大幅に下回る形で推移しておりますが、現時点においては、受注・売上計画に変更は生じておりませんので、売上想定については変更の必要は生じておりません。

損益につきましては、上半期の売上が低調であったため、上半期だけで通期の想定を上回る赤字を計上しておりますが、下半期は売上高45億円以上を計画していることから、相当程度挽回できるものと想定しております。また、原発の再稼働に向けての準備工事計画がなかなか定まらない状況から、下半期にはこれにまつわる想定外の案件が発生することも十分に考えられ、現時点では当初想定を維持することが適切と考えており、想定の変更はございません。

配当につきましては、当中間期は、当期業績が不透明であることから、手元資金の確保と財務体質の維持を優先し、前年同期と同様、見送り（無配）とさせていただきます。

期末配当につきましては、当期の最終業績と今後の状況の変化を見て慎重に検討してまいりますので、現時点では未定の予想を継続させていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,546,061	1,525,893
受取手形及び売掛金	2,658,001	2,245,170
有価証券	20,173	2,818,628
商品及び製品	125,334	197,425
仕掛品	1,348,212	1,641,789
原材料及び貯蔵品	699,407	705,132
繰延税金資産	—	6,984
その他	226,609	95,814
貸倒引当金	△6,000	△6,000
流動資産合計	9,617,799	9,230,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	382,547	371,734
機械装置及び運搬具(純額)	879,225	822,709
土地	261,363	261,363
その他(純額)	158,407	131,226
有形固定資産合計	1,681,544	1,587,034
無形固定資産	458,372	388,922
投資その他の資産		
投資有価証券	549,944	550,151
その他	87,488	108,322
貸倒引当金	△38,344	△35,344
投資その他の資産合計	599,088	623,130
固定資産合計	2,739,005	2,599,087
資産合計	12,356,805	11,829,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	717,385	674,600
短期借入金	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	439,992	439,992
未払法人税等	16,927	12,261
繰延税金負債	2,576	—
賞与引当金	239,771	—
受注損失引当金	125,086	296,389
その他	442,276	1,094,206
流動負債合計	2,004,015	2,527,450
固定負債		
長期借入金	1,675,012	1,455,016
繰延税金負債	71,510	73,028
退職給付引当金	777,521	691,730
P C B 処理引当金	64,972	62,875
その他	20,908	93,965
固定負債合計	2,609,926	2,376,616
負債合計	4,613,941	4,904,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	4,425,796	3,605,911
自己株式	△615,649	△615,763
株主資本合計	7,569,674	6,749,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,421	167,161
為替換算調整勘定	5,768	9,021
その他の包括利益累計額合計	173,190	176,183
純資産合計	7,742,864	6,925,858
負債純資産合計	12,356,805	11,829,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,957,531	2,933,456
売上原価	3,388,186	2,877,446
売上総利益	569,344	56,009
販売費及び一般管理費	900,676	848,661
営業損失(△)	△331,331	△792,651
営業外収益		
受取利息	3,254	3,447
受取配当金	4,015	5,252
受取保険金	—	21,185
雑収入	12,044	25,692
営業外収益合計	19,314	55,577
営業外費用		
支払利息	6,887	12,006
貸倒引当金繰入額	2,304	—
雑損失	478	1,735
営業外費用合計	9,670	13,742
経常損失(△)	△321,686	△750,816
特別利益		
固定資産売却益	58	145
特別利益合計	58	145
特別損失		
固定資産処分損	1,035	26
特別損失合計	1,035	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△322,664	△750,697
法人税、住民税及び事業税	8,319	7,342
法人税等調整額	358,893	△8,202
法人税等合計	367,213	△859
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△689,877	△749,837
四半期純損失(△)	△689,877	△749,837



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△689,877	△749,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,135	△260
為替換算調整勘定	5,821	3,253
その他の包括利益合計	84,957	2,992
四半期包括利益	△604,919	△746,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△604,919	△746,845
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△322,664	△750,697
減価償却費	262,259	241,612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,003	△3,000
未払賞与の増減額(△は減少)	234,388	227,366
賞与引当金の増減額(△は減少)	△254,460	△239,771
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,835	△8,244
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△25,747	171,303
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△100,046	△85,791
P C B 処理引当金の増減額(△は減少)	—	△2,096
受取利息及び受取配当金	△7,269	△8,700
受取保険金	—	△21,185
支払利息	6,887	12,006
固定資産売却損益(△は益)	△58	△145
固定資産処分損益(△は益)	214	26
売上債権の増減額(△は増加)	△546,830	412,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	228,879	△371,392
仕入債務の増減額(△は減少)	176,596	△42,785
前受金の増減額(△は減少)	—	456,088
その他	△141,042	59,264
小計	△494,725	46,689
利息及び配当金の受取額	8,493	8,386
利息の支払額	△6,274	△11,905
保険金の受取額	—	21,185
法人税等の支払額	△156,327	△19,306
法人税等の還付額	—	136,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	△648,834	181,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△101,382	△36,010
有形固定資産の売却による収入	—	150
無形固定資産の取得による支出	△42,891	△27,985
長期貸付金の回収による収入	3,017	3,000
その他	—	△25,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	158,743	△85,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△450,000	△10,000
長期借入れによる収入	2,350,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,000	△219,996
リース債務の返済による支出	△19,633	△19,906
自己株式の取得による支出	△112	△113
配当金の支払額	△70,502	△69,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,794,751	△319,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,895	2,813
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,308,556	△221,712
現金及び現金同等物の期首残高	2,535,893	4,566,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,844,450	4,344,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,311,650	645,881	3,957,531	—	3,957,531
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,311,650	645,881	3,957,531	—	3,957,531
セグメント利益又は損失(△)	189,626	△68,898	120,727	△452,059	△331,331

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,059千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,366,685	566,771	2,933,456	—	2,933,456
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,366,685	566,771	2,933,456	—	2,933,456
セグメント損失(△)	△270,551	△111,181	△381,732	△410,918	△792,651

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△410,918千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。